



## 秋田県 4 大学大学生の無作為化比較試験 HPV ワクチン接種意思が SNS により向上

### 【背景】

日本では、2013 年から 2021 年にかけて、ヒトパピローマウイルスワクチン（HPV ワクチン）の積極的勧奨が差し控えられていましたが、2022 年 4 月に積極的勧奨が再開されました。積極的勧奨差し控えの期間に HPV ワクチン接種を逃した方を対象に、2025 年までの 3 年間という期限を設けキャッチアップ接種が行われています。HPV ワクチン接種率向上に向けて啓発活動が必要と考えられます。

### 【目的】

我々はランダム化比較試験（RCT）により（1）HPV 関連情報を提供する際の媒体（LINE 群 vs. 郵送群）による効果および（2）SNS のより有効な情報提供の方法として LINE を用いた頻回な介入と会話の場の提供（LINE-assisted intervention 群 vs. 無介入群）による効果を検討することにしました。

### 【方法】

秋田県内の 4 大学の学生を対象に LINE による介入効果を RCT にて検証しました。HPV ワクチン接種未完了の 18～35 歳の男女学生を募集しました。357 名（女性 53%）を LINE 群（n = 178）と対照群（n = 179）に性別で層別化し無作為に割り付けました。1 回目の介入では、LINE 群と対照群（郵送群）にそれぞれ LINE、郵送を用いて HPV および子宮頸がんに関する情報を提供しました。2 回目の介入では、LINE-assisted intervention 群には週 5 日、7 週間に渡って情報提供と参加者が自由に発言できる場を提供し、対照群（無介入群）では無介入としました。それぞれの介入後の約 1 か月後に自記式質問票を配布しました。調査項目は、基本的特性（性別、年齢、学部、喫煙歴、飲酒歴）、HPV ワクチン接種意思（直ちに、半年以内に、1 年以内に、3 年以内に、受けようと思わない、わからない）、知識、ヘルスリテラシー、ヘルスビリーフモデル（罹患性、重大性、利益、障壁）です。接種意思は直ちに～3 年以内に接種意思ありとしました。知識は HPV ワクチンに関する 20 個の質問を行い正解数を算出し、中央値以上未満で 2 値化しました。接種意思および知識・ヘルスリテラシー・ヘルスビリーフモデル（HBM）をアウトカムとし、性別で層別化した層別化ロジスティック回帰分析を用いました。

### 【結果・考察】

合計 357 名の未接種男女（女性 53%、平均年齢 20 歳）がベースライン調査に回答し、3 年以内の接種意思ありは LINE 群では 40%、対照群では 42%でした。

1 回目介入後調査では、LINE 群と郵送群では、接種意思（51% vs. 40%）および知識、ヘルスリテラシー、HBM に有意差を認めませんでした。群内比較では LINE 群において接種意思および知識・ヘルスリテラシー・HBM（罹患性・重大性）のレベルが向上し、郵送群では知識およびヘルスリテラシー・HBM（罹患性・重大性）が向上していました。LINE、郵送ともに情報提供の効果を認めました。これらのことから、LINE と郵送という媒体の違いによらず両者とも知識・ヘルスリテラシー・HBM（罹患性・重大性）の向上を促すことが示されましたが、LINE 群では知識およびヘルスリテラシー・HBM（罹患性・重大性）に加えて接種意思が向上しており、LINE を用いた情報の提供がより効果的と考えられま

す。

さらに2回目介入後調査では、LINE-assisted intervention 群において接種意思（66% vs. 44%）が向上していました。このことから、頻回な介入と会話の場の提供を行うことはSNSのより有効な利用方法であると考えられます。

本研究は秋田大学大学院医学系研究科衛生学公衆衛生学講座野村恭子教授の指導により、医学科の学生らで研究事務局を作り学生主体で実施しました。医学部医学科5年生太田友さんが筆頭で執筆し、国際科学雑誌 *Vaccines* に2022年11月26日に掲載されました (<https://www.mdpi.com/2076-393X/10/12/2005>)。本研究は、科研費挑戦的研究(萌芽)情報通信技術を活用した子宮頸がん予防のヘルスリテラシー向上に関する研究（研究代表者野村恭子 19K22737）にて行われました。

**【問い合わせ先】**

(研究内容)

秋田大学大学院医学系研究科

衛生学・公衆衛生学講座

教授 野村恭子

電話：018-884-6087

Email：knomura@med.akita-u.ac.jp,

(その他)

秋田大学医学系研究科・医学部総務課長

飯塚 博幸

電話：018-884-6005 / FAX：018-884-8619

Email：iizuka@jimu.akita-u.ac.jp